

中学生サミット通信

平成30年2月5日発行

文京区青少年委員会
会長 石田 幸雄

新しい生徒会役員になって初めての中学生サミット。 緊張しつつも活発な話し合いをすることができました。

平成29年12月2日(土)、文京区立第十中学校にて「第47回中学生サミット連絡会」が開かれました。中学生サミット連絡会とは、区立中学校の生徒会役員が一堂に会し、議題を決めて情報交換を行い、各生徒会の活動を活性化させることを目的に、青少年委員会が実施している事業です。今回は、各校で生徒会役員選挙を終え、2年生が会長となって初めてのサミットでした。最初は、どのようなことが行われるのか、緊張した面持の生徒が多かったですが、アイスブレイクを行い、3つのグループに分かれて話し合っていくうちに、打ち解けて活発に意見交換することができました。

議題1

生徒会活動で悩んでいること、その改善点

新しい生徒会役員のメンバーで活動し始めて2ヶ月。うまくいったり、いかなかったりして、悩みが出てくる頃です。そこで、各校での悩みやうまくいったアイデアを共有し、今後につなげられればと思い、この議題を設定しました。

どのグループにも共通して出た悩みは、「あいさつ」に関すること、「意見箱」に関することでした。

あいさつに関しては、「集団に対してするのではなく、個人個人にするようにする」「生徒との距離を近くする」「強化週間を設ける」といった改善策が出ました。

意見箱に意見が来ないことに対しては「お題を提示する」「意見の返答を速くする」という改善策が出ました。また、ふざけた意見が投函されてしまうことに対しては、「記名させる」といったアイデアも出ました。

他にも、「コンタクトポストのアイデアは、生徒全員から募集するのがよい」という意見や「ユニセフ募金の時期、行事の後がよい」、「生徒会室で使った資料は、箱やファイルで整理する」といったことも話題になりました。

今回話し合った改善策を取り入れ、各校の生徒会活動がより活性化していくことを願っています。

議題2

授業や行事でクラスをまとめる方法・工夫

生徒会役員を務める生徒は、班長や学級委員など、クラスの皆をまとめる立場を経験している人が多いと思います。普段の授業や、運動会、学習発表会といった大きな行事で、クラスをまとめるためにどのような方法を使っているか意見交換をし、自分の学校生活に取り入れられればと思い、この議題を設定しました。

授業中に私語をしてしまう人や、ふざけてしまう人に対しては、どのグループでも「声かけ」をするという方法が出ました。その時のポイントとしては、前向きに明るく言うこと、リーダーだけでなく気づいた人から言うことが出ました。また、班を基準にして声かけをする、学級委員や実行委員と協力して声かけをする、注意する人を増やすことも挙げられました。真面目に注意するだけでなく、ノリで軽く注意したり、1対1で注意したりするアイデアも出ました。また、話す人がいなくなるような席をつくる、ふざけている人と真面目な人を近づけるという座席のアイデアも出ました。

他にも、週の目標を決めたり、行事の目標を決めたりすることで団結できるという意見もありました。



第47回
中学生サミット連絡会



会場校
第十中学校
生徒会役員
のひと言

私は、初めての中学生サミット連絡会、そして初めてのホスト校という形で参加しました。ホスト校のため、私たち十中の生徒会が司会をすることになりました。そのことを聞いた私は、「間違えることは許されない」という責任感をもちました。そのプレッシャーのせいから、最初は足が震えるほど緊張しました。しかし、本番、次々と司会の仕事をこなしていくと、徐々に緊張は解けていきました。グループの話し合いでは、私は司会となり、話を進めていく役割を担いました。途中、話が途切れてしまい、他校の方に助けてもらいました。私は、この経験から、司会という役割をもっと極めていきたいと思いました。話し合いでは、聞けなかったこともありましたが、いろいろな悩みを聞いたり言ったりして、改善点を出すことができました。さらなる高みへ「一歩前進」することができました。

2年
生徒会長
さらなる
高みへ

2年
副会長
中学生サミット
で学んだこと
を今後
に生かす

今回のサミットは、私にとって初めての中学生サミットで、また開催校として準備するのが大変だったり、緊張したりすることがありました。しかし、それ以上に多くのことを学ぶことができました。討議の時は司会として議事の進行を務めました。しかし、思っていたよりも発言が少なく、進行をする上でつまってしまうことがありました。このように、想定と違った場合に臨機応変に対応する大切さを学ぶことができました。また、最初の議題の「生徒会活動で悩んでいること、その改善点」では、他校生が私たちと同じような悩みを持っていることを知り、悩んでいるのは自分達だけではないという安心感を得ることができました。このような経験はなかなかすることができないと思うので、今回学んだことを生かして、今後も生徒会活動に取り組んでいきたいです。

初めて中学生サミットに参加して、テーマについて様々な考えを他校から知ることができ、私たちの学校以外の活動や意見を知る良い機会となったと思います。私たちの学校で取り組んでいるものの良いところや、相手の学校の良いところをたくさん見つけることができました。グループの話し合いでは、キーワードに対しての活動や工夫を考えて、皆の意見を聞いていて、やりたかったことがあったので、発表したことや聞いてなるほどと思ったことは、このサミットで終わりではなく、今後にも生かしていきたいです。

1年
書記
貴重な経験を
生かして……

今回、初めての中学生サミットに参加して、緊張しましたが、自分の学校で、先輩達もいて、落ち着いた参加することができました。今回の議題は、2つとも生徒会活動や学校生活で生かせるものでした。他校が行っている取り組みなど、普段の生徒会の話し合いでは出ないような意見が出て、とても驚いたことが多かったし、楽しかったです。そして、それをこれからの活動に生かしたいと思いました。他校の生徒会という自分と同じ立場の人と集まって話す、しかもホスト校として参加することができたのは、なかなかできることではありません。とても貴重で、良い経験をするこ

1年
書記
今後の活動に
生かしたい

今回は、全体の司会とグループごとの司会を担当しました。初めて会う方々ばかりで、上手く進行できるか、話をまとめることができるか不安がありました。しかし、案外、生徒会役員同士で共感できる部分やどうすれば良いのかという今後につながる意見も出し合えて、とても良かったです。また1つ目の議題は緊張し、司会進行を上手くできませんでしたが、2目からは慣れることができ、自ら考えて進行することができました。また、明るく笑顔で進行していたおかげで、グループのメンバーとも打ち解けることができました。今回の経験は、他の事にも生かせると思うので、今後にも活用したいと思えます。

2年
副会長
生徒会として
こそ得られる
経験

第47回となる中学生サミット連絡会は、区立全十校の中学校生徒会役員が堂に会し行われました。アイスブレイクでは、「じゃんけん列車」となるまさんが斬んだ」を行い緊張もほぐれた様子でした。そしてサミットでは2つのテーマについて話し合いを行いました。3つのグループに分かれグループディスカッションを行った後にグループ毎にまとめた意見を発表するという課題で進行していかれました。2つのテーマは、各校の生徒会でも同様に抱えている課題だったのか、次々と意見が飛び交っていました。膝を突き合わせて議論するグループディスカッションの様子は、初対面の壁も低く全員が活発に意見を出し合えた様子でした。ランチサミットでは、軽食を取りながら中学生だけの空間でさらに親睦を深め有意義な時間を過ごすことができましたと思われま。終了時の皆の楽しげで晴れやかな顔が印象的であったと同時にアンケートには積極的な意見や感想が多く、本日の会から得たことを実践してみたいといった意欲が伝わってきました。中学生の皆さんお疲れ様でした。

まとめ